

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

| | | | |
|---------|-----------------------|------------|------------|
| 事業所番号 | 0172000366 | | |
| 法人名 | 株式会社 道央ケアセンター | | |
| 事業所名 | グループホームつつじⅡ (第1ユニット) | | |
| 所在地 | 北海道小樽市朝里川温泉2丁目694番地4号 | | |
| 自己評価作成日 | 平成28年1月25日 | 評価結果市町村受理日 | 平成28年3月18日 |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

自然豊かな環境に位置しており、暖かい季節には、周りの山々の景色や草花を眺めながら散歩を楽しむ事が出来ます。また、フロアの窓からは、野生のリスや、鹿、野鳥なども遊びに来てくれる事があります。暖かい季節には、中庭でお茶を楽しんだり、花壇や家庭菜園があるので、利用者の方々と一緒に花壇への水やりや、野菜を育て収穫し食事をしています。ゆっくりとした家庭的な雰囲気の中で利用者様一人ひとりが楽しく安心して生活が送れるように努め、地域の方々と交流を深めながら、地域に密着したグループホーム作りを目指し取り組んでいます。

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

| | |
|-------------|---|
| 基本情報リンク先URL | http://www.kajigokensaku.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_2015_022_kani%2Fue&JigvosyoCd=0172000366-00&PrefCd=01&VersionCd=022 |
|-------------|---|

【評価機関概要(評価機関記入)】

| | |
|-------|-----------------------------------|
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人 福祉サービス評価機構Kネット |
| 所在地 | 札幌市中央区南6条西11丁目1284番地4 高砂サニーハイツ401 |
| 訪問調査日 | 平成28年2月19日 |

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- 1) ホームの環境：温泉街の豊かな自然や地域住民との良好な交流を維持し、介護機能の効率・効果的な設備と安心・安全に配慮しゆったりとした雰囲気づくりに努めている。
- 2) 職員の態度・姿勢：職員は運営理念、地域密着な活動方針、具体的な行動指針を共有して利用者に添い、よく見て、聴き、伝えて、アットホームな雰囲気づくりに努めている。
- 3) 家族・利用者の満足：心身の変化の迅速な連絡、細かな心配り、相談対応のよさ、気楽で話しやすさなどに好感を示して職員の真摯な姿勢に満足感を示している。
- 4) 運営推進会議開催状況：会議は地元のPTA、民生委員、家族、包括支援センター、消防支所職員等の参加を得て定例に開催している。運営状況に資料を示して参加者の意向、意見を運営に活かしている。
- 5) 地域との連携関係：近隣の小学校の運動会・学習発表会等の行事参加や生徒との交流、夏祭り等での家族や地元との交流・相談など地域密着な貢献に努めている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項目 | | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 | | 項目 | | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 | |
|----|--|-----------------------|---|----|---|-----------------------|---|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない | 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19) | ○ | 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない |
| 57 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38) | ○ | 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない | 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20) | ○ | 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4) | ○ | 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 66 | 職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12) | ○ | 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | ○ | 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | | | | |

自己評価及び外部評価結果

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|-------------------|------|--|--|--|---|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I.理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | 1 | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | 独自の運営理念とポリシー(方針)を決め常に目に止まる所(玄関、居間、職員の居場所)に掲示し、それに沿ってサービスを提供しています。社内研修にも取り入れ、皆で共有し実践につなげています。 | 理念は運営の基本姿勢(利用者本位で自立支援)、地域密着の支援方針(地域との連携と貢献)、職員の行動指針(明るく、楽しく、ゆっくり、一緒に)を明記し、掲出して職員は共有し実践に活かしている。 | |
| 2 | 2 | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | 地域の小学校の運動会や学習発表会への参加、お祭りやクリスマス会、雪明りなど、ボランティア、子供会の方々の協力を頂き、楽しく交流が来ています。 | 温泉地としての地域の多くの社会資源(活動)を活かした運営とするよう、祭り、行事、小学校などとの交流など、相互の支援関係の維持と協力関係を大切にしている。 | |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | 2ヶ月に1回、運営推進会議を開催し、その中で地域の民生委員さんや、地域小学校のPTA、ご家族の方々へホームでの日々の生活をお伝えしたり、認知症の方の理解や支援の方法等を話しています。 | | |
| 4 | 3 | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 運営推進会議では、自己評価、外部評価について報告しています。日々の改善に向けた取り組み等は、意見交換を行いサービスの向上に活かしています。会議後は議事録をご家族に送付しています。 | 運営推進会議は定例に開催し、民生委員、PTA関係者、家族、包括支援センターの参加を得て利用者の生活状況(行事、日常活動や衛生等)、災害予防と訓練など議題を明らかにして参加者の意見を運営に活かしている。また議事録を家族に送って理解を得ている。 | |
| 5 | 4 | ○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる | 電話や窓口にて相談し、アドバイスを受け協力関係を築くよう取り組んでいます。 | 月例の事業運営報告等窓口を通じた助言や事業方針の動向等を大切にしている。また、運営推進会議に参加の包括支援センターから、議題に応じた情報や示唆を得ている。 | 包括支援センターの役割に期待される市内事業所の創意ある利用者支援の取り組み等の情報提供への働きかけの検討を期待したい。もしあれば推進会議等で披露し、理解を得るよう期待したい。 |
| 6 | 5 | ○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 定期的に身体拘束委員会を開催し話し合いを行っています。社内研修にも取り入れ、禁止の対象となる具体的な行為を正しく理解し、職員全員が周知して日々のケアに取り組んでいます。 | 身体拘束事項は重要事項説明に明記して対応に努めると共に、内部委員会による具体的対応研修を重ねるなど、職員相互がテーマを共有して、利用者の人権を損ねることのないよう努めている。 | |
| 7 | | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | 社内研修にて繰り返し学ぶ機会を持ち、日々の生活の中で利用者様の様子に変化はないか注意し防止に努めています。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | 社内研修に取り入れ、繰り返し学ぶ機会を作っています。職員全員が理解を深め、知識の向上につながるよう努めています。 | | |
| 9 | | ○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | サービス提供前に契約書、重要事項説明書にて説明し、ご家族が不明な点については、十分話し合える時間を持ち、納得頂けるよう努めています。 | | |
| 10 | 6 | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 面会時に、ご家族の意見や要望等を伺うようにしています。面会の少ないご家族へは電話や便り等(近況報告、つつじ便り)で対応し、意向に沿ったケアが行えるようにしています。 | 家族訪問時の対応や、通例の報告事項に合わせた「つつじ便り」、推進会議の参加や議事録の送付などで、運営状況や個々の生活状況を伝え、理解を得るよう努めている。 | |
| 11 | 7 | ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | 職員の意見や提案を重視し、定期的に会議を開催し意見交換の場を設けています。日常の介護の場面での気付きや提案など、その都度話し合い反映させています。 | カンファレンス会議等での職員の観察、傾聴、受容、対応、連絡等の姿勢・態度を忌憚なく協議して、運営に活かし、さらなる介護の質的向上となるよう努めている。 | |
| 12 | | ○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | 個々の職員が、能力を発揮出来る様に努めています。個々が目標を持ち、積極的に資格取得等に取り組み向上心を持って働けるように努めています。 | | |
| 13 | | ○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 社内研修は毎月実施し、外部研修へも参加しています。また、資格取得を目指す職員へアドバイスをしています。 | | |
| 14 | | ○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 相互訪問研修を通じて、同業者と交流し意見交換を行い、学んだ事をサービスの質の向上につながる様努めています。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|-----------------------------|------|---|---|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | ○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めています。 | ご家族やご本人が安心して入所出来る様、ご家庭に訪問してお話する機会を持ち、また見学を進めています。要望や不安な事を聞き、安心して生活が出来るよう努めています。 | | |
| 16 | | ○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | ご家族の不安や要望を聞き入れ、出来るだけ希望に沿った支援が出来るように努めています。 | | |
| 17 | | ○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | ご家族やご本人とその都度話し合い、適切な支援が出来る様努めています。 | | |
| 18 | | ○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | 調理や掃除、リネン交換等を職員と一緒にしたり、分からない事を教えて頂きながら、良好な関係が築けるよう努めています。 | | |
| 19 | | ○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | ご家族の面会時や、電話にてご本人の様子をお伝えしています。また、ご家族からの要望を聞き、安心して過ごせるよう努めています。 | | |
| 20 | 8 | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | ご家族にご協力を頂き、以前の友人とのつながりが途切れないように電話の利用や快く面会に来て頂けるよう支援に努めています。 | 地域密着の理念に準じ、従来の家族関係や交友関係の維持を支援すると共に、住み慣れた場での新たな小学生や地元住民との関係の交流を深める支援を大切にしている。 | |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | 一人ひとりの性格を把握し、その方に合った関係を築けるよう工夫し支援しています。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------------------------------------|------|--|--|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | 契約終了後も相談や心配事があればいつでもご連絡頂ける様、ご本人、ご家族にお伝えしています。 | | |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | 9 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 日々の関わりの中で、ご本人の表情、言葉、行動から思いを把握するよう努めています。意思疎通が難しい場合は、ご家族からの情報を得るようにしています。 | 職員は入所以来のアセスメントやその後の生活記録を共有し、個々の観察を通して意思の疎通を図り、その人に添った意向を捉えるよう努めている。また、家族の協力を得て支援に努めている。 | |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | 入居の際に、ご本人、ご家族から情報を伺い、日々の生活の中で継続出来るよう努めています。 | | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | 一人ひとりの一日の過ごし方や、心身の状態を職員間で確認し合い、無理のない程度に発揮出来る様に努めています。 | | |
| 26 | 10 | ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | ご本人やご家族の意向を聞き、担当者会議などで適切なサービスが提供出来るよう、見直しとケアの方策を話し合い介護計画を作成しています。 | 介護の過程を職員相互が確かに捉え、カンファレンス会議で協議し、課題を明らかにして計画者の介護計画策定に協力している。結果を家族と共有して支援に努めている。 | |
| 27 | | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 介護計画をもとに、毎日の様子を個別に記録しています。モニタリングを行い職員間で話し合った事を介護計画見直しに活かしています。 | | |
| 28 | | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | 協力医療機関以外の通院、送迎などご家族が同行出来ない場合は、柔軟に対応しています。 | | |
| 29 | | ○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | 民生委員、消防、地域のボランティアの方々から協力を頂き、豊かな暮らしが出来るよう支援しています。 | | |
| 30 | 11 | ○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 以前からのかかりつけの病院にするか、施設の協力医療機関に移行するかは、ご本人、ご家族の希望に沿った受診、往診を支援するよう努めています。 | 利用者のかかりつけ医を基本にししながら、支援に努めている。協力医療機関の受診・往診をうける者も多い。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------------|------|---|--|---|--|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 31 | | ○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している | 日常の健康管理を行い、変化があった場合は、協力病院(内科・精神科・歯科)の看護師に相談し、対応しています。 | | |
| 32 | | ○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 入院した際は、安心して治療が出来るように、病院関係者やご家族と連絡を取り合い、情報交換や経過を共有し、早期に退院出来る様に努めています。 | | |
| 33 | 12 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所であることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいます。 | 重度化の方針については、サービス開始以前に説明しています。協力医療機関や他の施設と連携しその状態に合った支援が受けられるように取り組んでいます。 | 重要事項説明書に重度化に対応する指針事項を追加して、日常的健康管理、急変時の対応、主治医の判断と適切な処遇対応と調整、家族との連絡と協議等を盛り込み理解を進めている。 | 今後、重度化等利用者急変時の対応と、地域での連携対応の仕組みの変化も予想されますので、事業所の実態に合わせた準備体制の検討を期待します。 |
| 34 | | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | 社内研修などで、応急手当の方法や初期対応が出来るように学んでいます。これからも職員全員が実践出来るように努めていきます。 | | |
| 35 | 13 | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | 消防署の協力で、定期的な日中、夜間を想定した避難訓練を行っています。地域の方々に応援を頂き、安全に避難が出来るよう実施しています。 | 消防当局の協力を得ながら、想定訓練を実施している。推進会議での議題とする等、地元との協力や備蓄対応など体制を整えている。 | 近時の異常気象など変化の多い事象が見られ、地域全体で関係当局の情報や示唆を共有して、各自の役割を協議出来るよう期待します。 |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | 14 | ○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | 一人ひとりの人格を尊重し、個別に対応して穏やかに生活が出来るように支援しています。 | 法人の基本理念に準じて、利用者本位で自立を支え、個々の個性を大切に、その人の思いや誇りを大切に作る態度や姿勢で支援に努めている。 | |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | ご本人の思いや希望を伺えるよう声の掛け方を工夫し、話しやすい環境を作るよう心掛けています。 | | |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 食事、入浴、行事などへの参加など、ご本人の希望やペースを大切に、タイミングや時間を変えるなど、無理のないように支援しています。 | | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | 季節や気温に合った服装や、ヘアスタイルについても希望を伺いながら散髪し、おしゃれが出来るように支援しています。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 40 | 15 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 好き嫌いのある方には、好みに合わせた食事を提供しています。職員も一緒に食卓を囲み介助が必要な方には支援を行なっています。無理のない程度に後片付けを一緒に行っています。 | 職員も一緒に隣り合わせて、語りながら、おいしさを確かめ合い、支えて楽しい食事の機会を大切にしている。利用者の出来る力にあわせて協力の場を作っている。 | |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 一人ひとりの好みや体調に合わせて、お粥、刻み、水分にとろみを付ける等、また量の調節をしています。食事の摂取量、水分量は毎日記録しています。 | | |
| 42 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | 毎食後、一人ひとりの口腔状態に合わせて歯磨きを促し、不十分な時は仕上げ磨きや義歯洗浄の援助を行っています。夕食後は義歯を預かり消毒しています。 | | |
| 43 | 16 | ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている | 一人ひとりの排泄パターンを把握し、自立されている方は今の状態を維持出来るよう経過を見守ります。困難な方は援助を行い、プライバシーに配慮したトイレでの排泄を目指して支援しています。 | 個々の排泄に係る状態は多様で、それぞれパターンを共有してトイレでの排泄を促したり、下着の対応に工夫するなど、個々の支援に努めている。 | |
| 44 | | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | かかりつけの病院にて下剤を処方して頂き、量を調節し、排便の有無の確認を行い記録します。また、マッサージや牛乳を飲んで頂くなど促しています。 | | |
| 45 | 17 | ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている | ゆったりとした浴室で、一人ひとりの体調や気分に合わせて週2回以上入浴を楽しめるように支援しています。 | 入浴は午後13:00～15:00、夕食前17:00頃、夕食後19:00～21:00を予定しているが、それぞれのその時の意向や気分に応じて、週2回以上の支援に努めている。 | |
| 46 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | 生活リズムに合わせ、夜間ゆっくり安眠出来るように、日中は活動を促し、眠気が強い場合は短めに休息をとって頂き、夜間は定期的に巡視を行い、安心して眠れるよう支援しています。 | | |
| 47 | | ○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 薬の説明書を事前に確認し、副作用、用法、用量について理解し、服用中の体調変化の確認に努めています。 | | |
| 48 | | ○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | 一人ひとりの得意な事、出来る事を把握して行って頂いたり、嗜好品の継続や、歌会、ホーム内喫茶、暖かい日には散歩へお誘いし気分転換の支援をしています。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 49 | 18 | ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | 近隣の小学校の行事(運動会、学習発表会)に参加したり、ホームでは、春はお花見、秋は紅葉狩りに外出しています。ご家族の協力により外で外食をされたり、美容室へ出掛けられています。 | 朝里川温泉地ならではの自然環境に恵まれ、季節に応じた花見、紅葉を愛でる散歩、近隣の小学校との交流での運動会や学芸会、家族の参加での外食の楽しみなど、外出の機会を大切にしている。 | |
| 50 | | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | 個人で金銭管理をしている方はおりませんが、ご本人の希望があれば、ご家族と相談しながらお預かりしているお小遣いを使えるようにしています。 | | |
| 51 | | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | ご家族や親しい方からの電話の際は、直接お話して頂いています。また、希望があればこちらから電話をかけています。 | | |
| 52 | 19 | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 季節に応じた飾り付けや利用者様が書いた塗り絵、書道等の作品を掲示したり、一人ひとりの体調を聞きながら、居室内の温度調節を行い快適に過ごせるようにしています。 | ホームは5階建ての5・4・3階にあり、山側の四季の自然、谷あいと向かいの丘の風景を楽しめる。自作の書・絵やお雛人形をみなどで楽しめる雰囲気づくりをしている。温・湿度や採光等に留意した居間はゆったりとして、安心、安全を味わえる場としている。 | |
| 53 | | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | 一人ひとりの居室がありますので、自由に自室でゆったり過ごされたり、フロアでは、気の合う利用者様同士が近くでお話ができるよう工夫しています。 | | |
| 54 | 20 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 入居の際に、ご家族と相談しご本人が使い慣れた家具や好みの物を配置し、今まで通り居心地良く生活して頂けるように支援しています。 | 居室は個々の馴染みの家財や道具を備え、家族の協力を得て馴染みの写真やテレビ、座椅子の配置等、居室内での安全にも配慮した支援をしている。 | |
| 55 | | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | 建物内部の居室やトイレには一人ひとりがわかるように、目印や見出し、名前を付け不安なく自立した生活が送れるように工夫しています。 | | |